

八代港港湾計画 —改訂—

平成17年11月18日

交通政策審議会

第16回港湾分科会

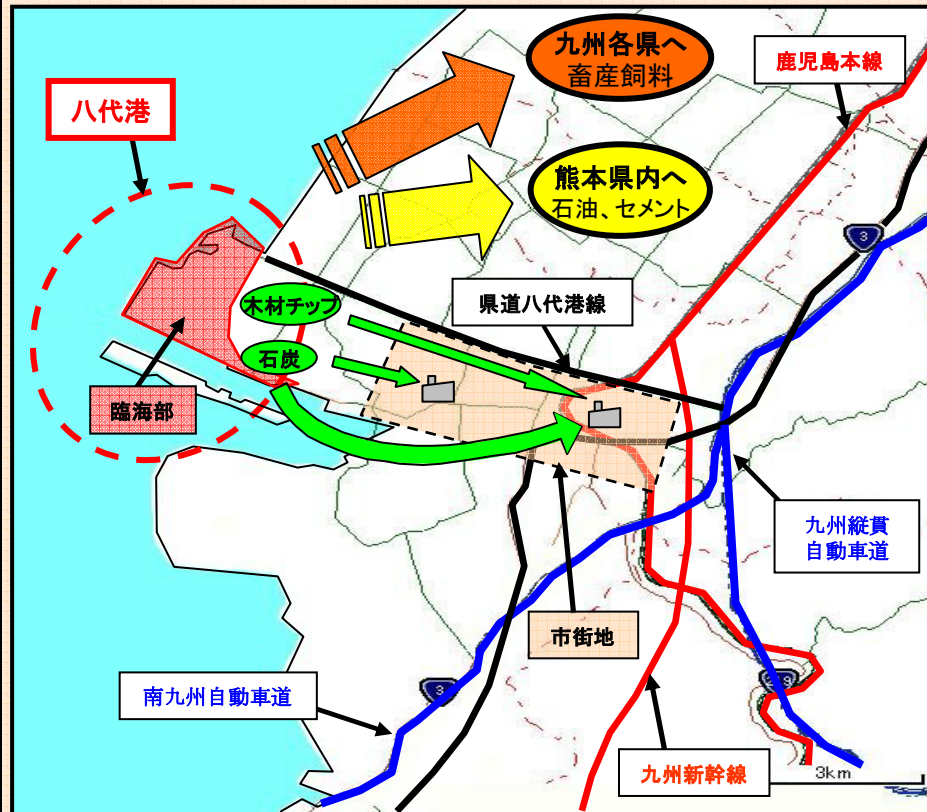
資料3



八代港の役割・改訂のポイント

【八代港の役割】

1. 熊本県南の産業を支える臨海工業基地
2. 製造業、畜産業等を支える原材料輸入拠点
3. 石油・セメント等の県内受入配分基地



【改訂のポイント】

- ①既存施設の有効活用による物流機能の強化
(1)大型船の入港に対応した公共ふ頭の機能強化
(2)県内石油受入配分基地の機能強化
かがしま
- ②加賀島地区の土地利用計画の見直し
- ③災害時の物資輸送対応と空間確保
- ④大規模埋立計画の見直し



①既存施設の有効活用による物流機能の強化

(1)大型船の入港に対応した公共ふ頭の機能強化

■課題・背景

- 穀物・石炭・チップ貨物船の大型化により、既存施設に満載喫水で入港できない船舶が増加
- 背後企業による大水深岸壁整備の要望

■対応

- 大型船の入港に対応した岸壁の整備
公共ふ頭計画 ー14m 2B 560m
- 背後用地の確保。

大型船入港状況



【石炭】



外港地区の利用状況



【今回計画】

岸壁(ー14m) 2B 560m
(既存岸壁(ー12m)の増深)

【今回計画】

ふ頭用地

①既存施設の有効活用による物流機能の強化 (2) 県内石油受入配分基地の機能強化

■課題・背景

- 全国の油送船の船型は3,000重量トンクラスの船舶が大半を占めている状況
- 背後立地企業から大型船対応の施設整備の要請



■対応

- 現状水深－5.0mを3,000重量トンクラスが入港可能な水深－6.5mへ増深。

【今回計画】

ドルフィン 2基

水深－5.0m→－6.5m(増深)

【今回計画】

防砂堤 1,300m(埋没防止)



②加賀島地区の土地利用計画の見直し

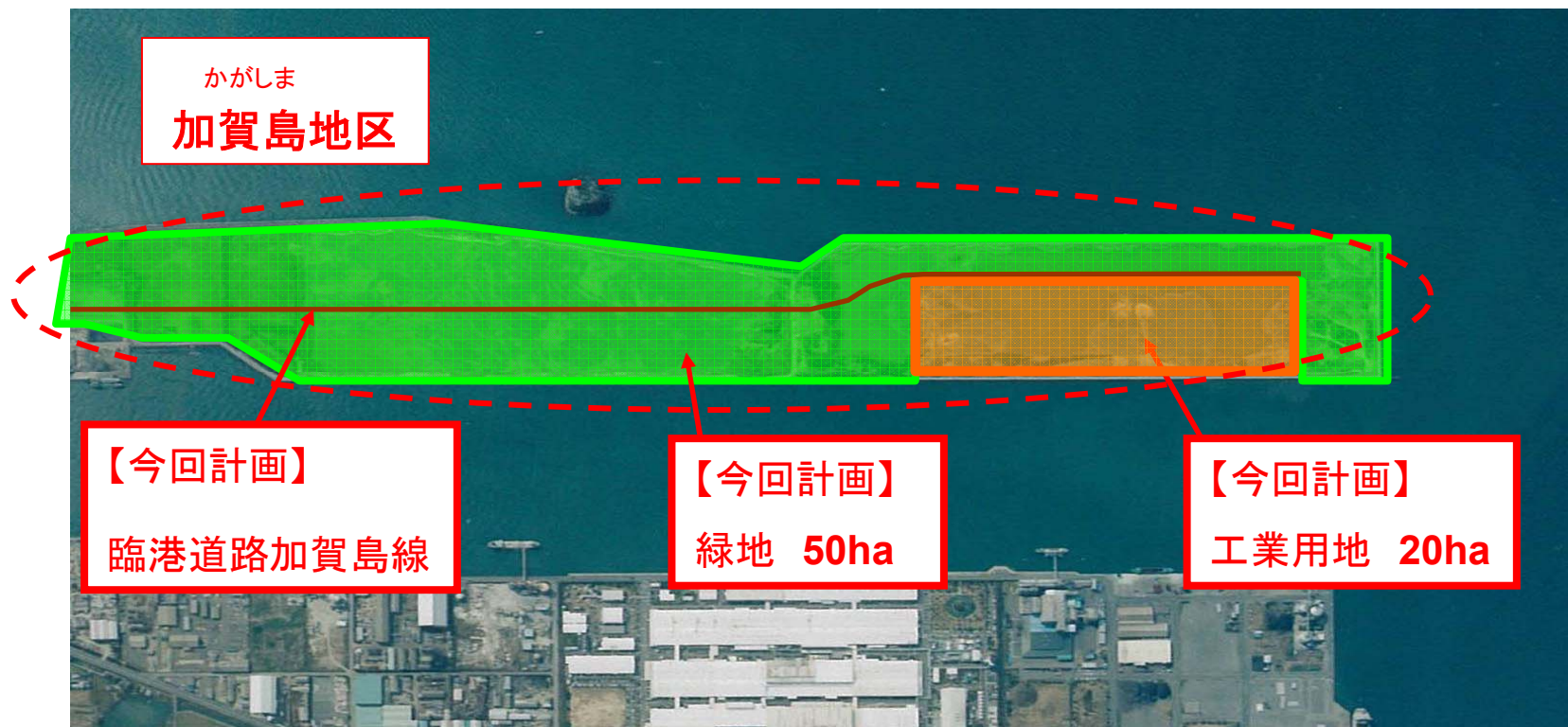
■課題・背景

- 市民や来訪者などが憩い楽しめるレクリエーション空間の要望がある。
- リサイクル関連等新規産業等の活動が活発化しており、臨海部への土地需要が期待されている。



■対応

- 市民が憩える親水緑地等の計画
緑地 50ha
- リサイクル関連等新規産業用地の確保
工業用地 20ha



③災害時の緊急物資輸送対応と空間確保

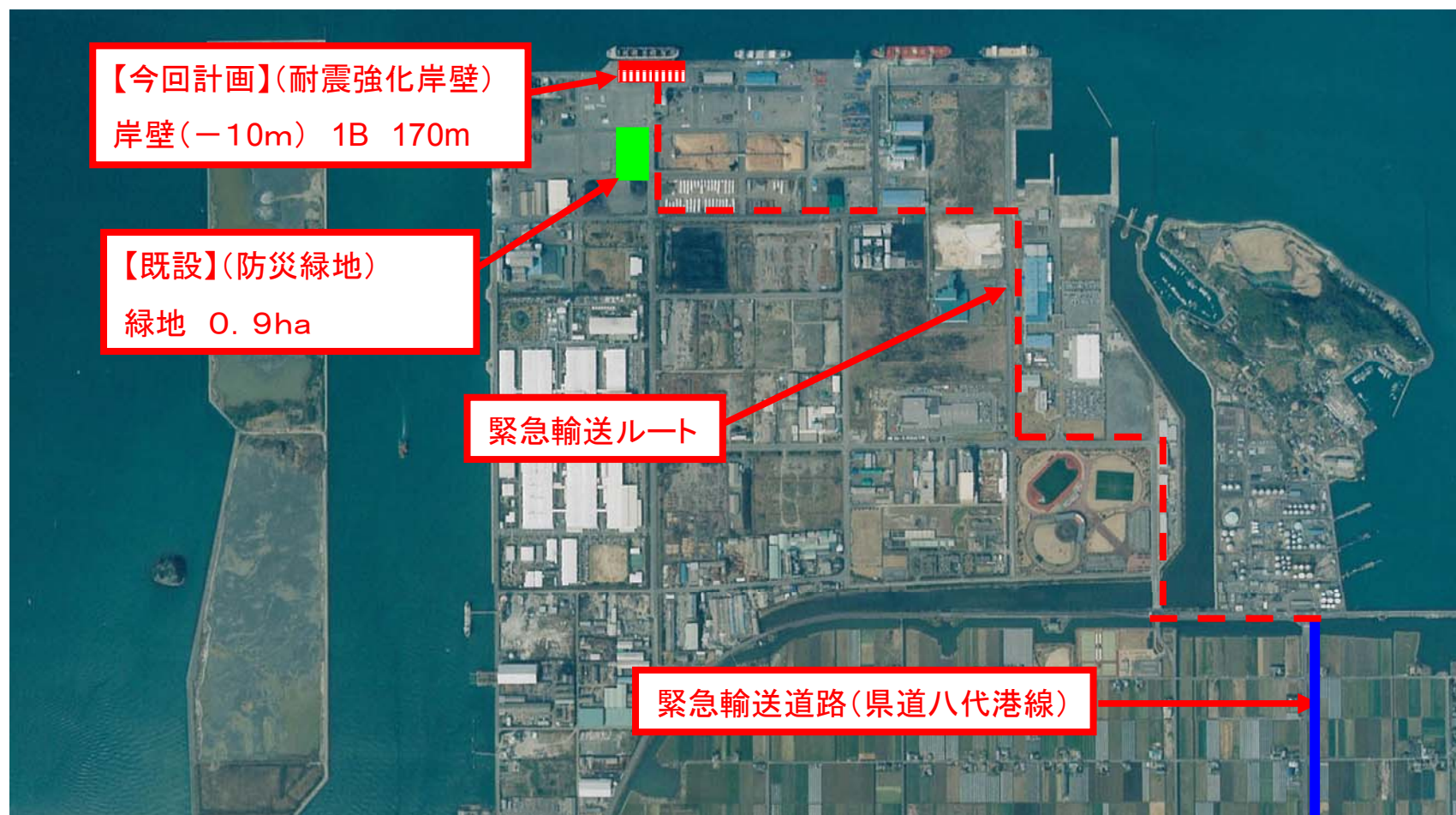
■課題・背景

- 八代港において耐震強化岸壁の位置づけがない
- 震災時における緊急物資輸送の要請



■対応

- 大規模地震対策施設として、耐震強化岸壁、広場、道路を位置付ける



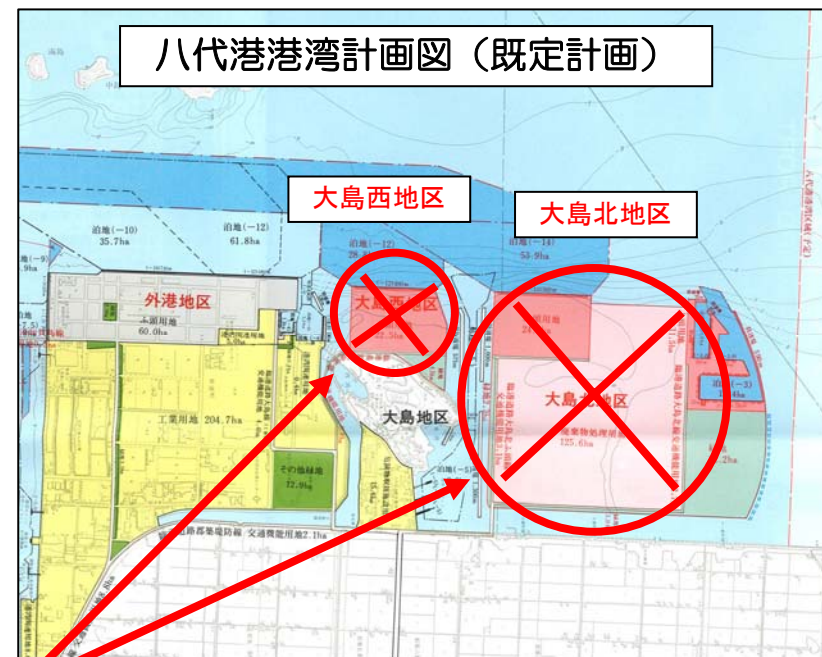
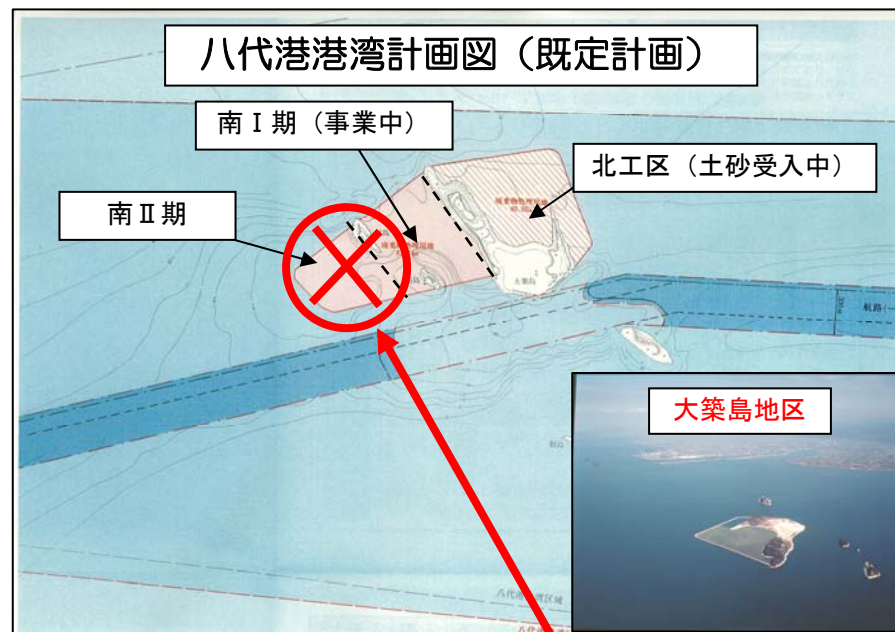
④大規模埋立計画の見直し

■課題・背景

- 既存施設の有効活用・機能強化
- 取扱貨物需要の見直し

■対応

- 大規模埋立計画の見直し



既定計画の
削除